

ONCC10 期 ぶらっと散策3 第4回探訪

服部天神宮周辺を歩く

探訪日：2022年6月16日(木)

時 間：集合9:50分～解散14:00頃

場 所：服部天神宮周辺

天 候：曇り

参加者：受講生39名 CA3名 計42名

ガイド：「とよなか・歴史と文化の会」の皆様

今日は「ぶらっと散策3」の4回目の探訪で、服部天神宮周辺の散策です。服部天神宮の境内に集合し CAさんの説明を受けた後、Aグループ(1,2班)とBグループ(3,4班)の2つに分かれてスタートしました。

見学コースは、服部天神宮→服部住吉神社→今西氏屋敷→西福寺→穂積遺跡説明板→広池跡記念碑→穂積百日堰の碑→ふれあい緑地→中央幹線景観水路→曽根駅で終了、解散となりました。

服部天神宮

5世紀に外来神の少彦名命(医薬の神)を祀ったのが始まりで、901年菅原道真が大宰府へ左遷されて任地へ赴く途中、脚気で歩けなくなった。そこで里人に勧められ路傍の祠と魚名を祀る五輪塔に平癒を祈念したところ、足の痛みがなくなったとの言い伝えがあり「足の神様」として信仰されています。



服部天神宮にて集合

服部住吉神社

総本社である「住吉大社」の別宮で、現在の社殿は豊国神社の旧社殿を譲り受けて移築したものだそうです。

神楽殿(能舞台)(国登録)は大阪最古のもので技術水準の高い作品とされています。



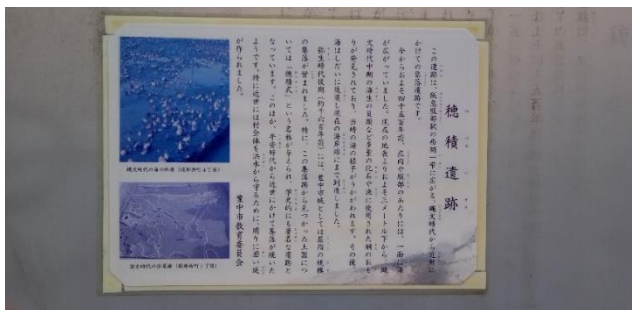
服部住吉神社能舞台



今西氏屋敷

今西氏屋敷(国の史跡)

奈良春日社領の荘園で垂水西牧において荘園経営を行った荘官屋敷です。16世紀末に領地没収になりましたが屋敷は中世以降、数百年にわたり豊富な文書と共に継続され中世の実態がわかる遺跡だそうです。



穂積遺跡説明板



穂積春日塚の碑



中央幹線景観水路

本日は梅雨入り発表直後の探訪となりました。天候が気になりましたが幸い降ることなく曾根駅に着き、ガイドさんに挨拶したあと解散となりました。皆さまお疲れ様でした。